

健 第 4838 号
平成28年12月 1日

一般社団法人 佐賀県医師会長 様
公益社団法人 佐賀県看護協会会長 様
一般社団法人 佐賀県薬剤師会長 様
公益社団法人 佐賀県栄養士会長 様
佐賀県保健指導支援ステーション長 様

佐賀県健康福祉部健康増進課長



平成28年度佐賀県CKD対策医療従事者研修会について（依頼）

本県の腎臓病対策の推進につきましては、日ごろから特別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび慢性腎臓病における重症化予防対策及び慢性腎臓病に関する知識の普及啓発のため、保健・医療従事者を対象にした研修会を開催します。

つきましては、研修会開催の趣旨を御理解いただき、会員の皆様への周知について御協力いただきますようお願いいたします。

なお、出席につきましては、資料等の準備の都合上、別紙参加申込書を2月10日（金）までに電子メールまたはFAXにより健康増進課あて送付くださいますようお願いします。

記

1 日 時 平成29年2月25日（土） 13：30～16：00（受付13：00～）

2 場 所 佐賀市文化会館 イベントホール（佐賀市日の出一丁目21-10）

3 内 容 第1部 講演「生活習慣病からの新規透析導入患者を減らすには
～糖尿病性腎症を中心に～」（90分）
講師 長崎大学病院 腎臓内科 教授 西野 友哉 先生

第2部 情報共有「佐賀県内での取り組みについて」 （50分）

- ①佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて
佐賀県健康福祉部 国民健康保険課 国保指導担当
- ②唐津地区における保健師を含めた他職種協働による透析導入予防
唐津赤十字病院 糖尿病内科 医師 竹之下 博正 先生
- ③当院におけるCKD教育への取組～クリニカルパスを使用して～
佐賀県医療センター好生館 3階西病棟 看護師 御厨 直子 先生
- ④CKDと薬剤について～CKDシールの取組～
佐賀大学医学部附属病院 腎臓内科 准教授 池田 裕次 先生

4 対 象 保健・医療従事者 250名程度（先着順）

佐賀県健康増進課 疾病対策担当 稲益
TEL(0952)25-7075 FAX(0952)25-7268
Mail kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

平成28年度 佐賀県CKD対策医療従事者研修会実施要綱

1 目的

慢性腎臓病（CKD）は、生命や生活の質に重大な影響を与える重篤な疾患であるが、適切な治療を行うことにより重症化の予防が可能である。

現在、CKDに対する社会的認知度が低く、腎機能異常に気づいていない潜在的なCKD患者が多数存在すると推測され、医療現場においても見過ごされることがある。

また、全てのCKD患者に腎臓専門医が対応することは困難であり、患者の多くが受診する、かかりつけ医の資質向上やコメディカル等の人材育成が急務となっている。

そのため、保健・医療従事者を対象にした研修会を実施し、正しい知識を普及し、またCKD対策に関わる従事者の連携体制を強化することにより、CKDの発症予防や重症化予防に努め、新たな人工透析患者の減少を図ることを目的とする。

2 開催日時： 平成29年2月25日（土）13：30～16：00（受付： 13：00～）

3 場 所： 佐賀市文化会館 イベントホール

（〒849-0923 佐賀市日の出一丁目21-10 TEL：0952-32-3000）

4 対 象： 保健・医療従事者等 250名程度（先着順）

5 内 容： 第1部 講演「生活習慣病からの新規透析導入患者を減らすには
～糖尿病性腎症を中心に～」（90分）

講師 長崎大学病院 腎臓内科 教授 西野 友哉 先生

（10分休憩）

第2部 情報共有「佐賀県内での取り組みについて」（50分）

①佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

佐賀県健康福祉部 国民健康保険課 国保指導担当

②唐津地区における保健師を含めた他職種協働による透析導入予防

唐津赤十字病院 糖尿病内科 医師 竹之下 博正 先生

③当院におけるCKD教育への取組 ～クリニカルパスを使用して～

佐賀県医療センター好生館 3階西病棟 看護師 御厨 直子 先生

④CKDと薬剤について～CKDシールの取組～

佐賀大学医学部附属病院 腎臓内科 准教授 池田 裕次 先生

6 主催： 佐賀県

7 申込・問合せ先： 平成29年2月10日（金）まで 健康増進課 疾病対策担当宛て
別紙申込書によりメールまたはFAXにて申込
TEL（0952）25-7075 FAX（0952）25-7268
Mail kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

<別 紙>

送信先：佐賀県健康福祉部 健康増進課
　　疾病対策担当 行
メール：kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp
FAX：0952-25-7268

送信票は不要です。この用紙のみ
お送りください。

※平成29年2月10日（金）までに提出してください。

施設名

担当者名

電話番号

FAX番号

*収集した個人情報は本研修会に関する連絡を行う事のみに使用します。

平成28年度 佐賀県CKD対策医療従事者研修会申込書

平成29年2月25日（土）開催

職種	氏名	備考

*当日の研修会にて、質問等があれば以下に御記入下さい。

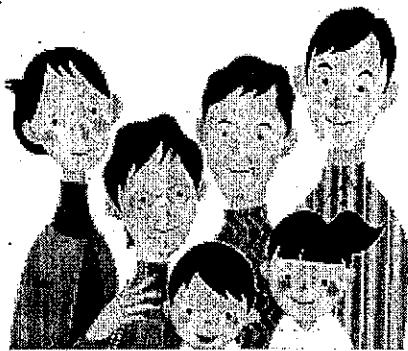
※申込者が定員を超えた場合は、締め切り前でも参加をお断りする場合がありますので、
御了承ください。早めの申込をお勧めいたします。

また、同一機関で参加者が多数の場合は各機関で調整させていただくこともあります。

お問い合わせ先：佐賀県 健康福祉部 健康増進課 疾病対策担当 稲益
TEL (0952) 25-7075

慢性腎臓病(CKD)は 私達の生活をおびやかす 新たな「国民病」です！

最近、慢性腎臓病(CKD)という新しい病気の概念が注目されています



慢性腎臓病(CKD:Chronic Kidney Disease)とは？

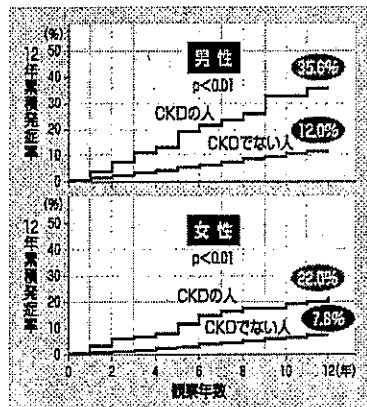
- ①蛋白尿など、腎臓の障害がある
- ②糸球体濾過量(GFR)が60未満に低下している

CKDは①か②のいずれかが3ヶ月以上持続した状態です

1. 慢性腎臓病(CKD)は透析を要する 腎不全の予備軍です

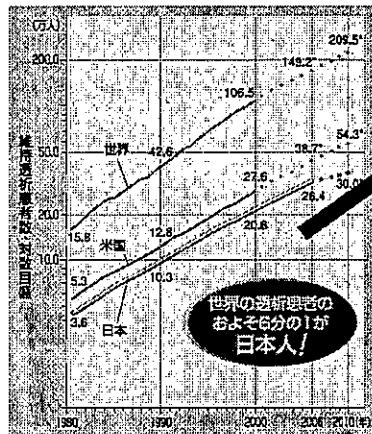
慢性腎臓病(CKD)が重症化すると透析治療が必要になります。日本の透析患者さんは約30万人、国民の約400人に1人です。透析患者さんの増加は、世界共通の問題です。

CKDがある人は心血管疾患になりやすい



CKDの有無別にみた心血管疾患の累積発症率
男女2,634人、1988-2000年、新規症
(Ninomiya T, et al: Kidney Int 68: 228-238, 2005より改変)

世界、米国、日本で透析患者さんは増えています



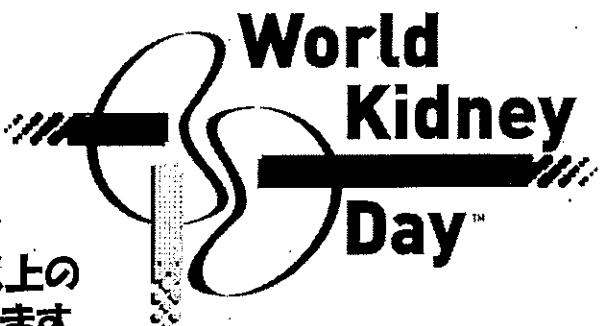
2. 慢性腎臓病(CKD)は心筋梗塞や脳卒中などの 心血管疾患に対する重大な危険因子です

最近になり、中程度の腎機能低下や、蛋白尿があると、心筋梗塞や脳卒中といった心血管疾患の危険が高まることが分かつてきました。慢性腎臓病(CKD)では心血管疾患の発症率が約3倍と報告されています。

3. 慢性腎臓病(CKD)推定患者数は約1,330万人、新たな国民病です！

慢性腎臓病(CKD)は自覚症状がないため、ほとんどの慢性腎臓病(CKD)患者さんは自分が病気であることを知りません！必ず健康診断を受けましょう。

毎年3月第二木曜日は 「世界腎臓デー」



世界腎臓デーにあわせ、世界6大陸100カ国以上の国々でさまざまな啓発キャンペーンが開催されます。

“あなたの腎臓は大丈夫？” CKDは早期発見が大事！
必ず健康診断をうけましょう

慢性腎臓病（CKD）は、尿と血液の検査で簡単に診断できます！
尿検査ではタンパク尿が重要です。



GFR(糸球体濾過量)とは？

腎臓は毎日約150リットルの尿の元を作っています。そのうち必要なものは再利用され、毒素などの不要なものが最終的に1～2リットルの尿に溶けた形で体外に排泄されます。

尿の元をつくる働きがGFRです。クレアチニンから特別な式で計算します。元気な人のGFRはおおよそ100ですから、自分の腎機能が何%くらいかが理解ができます。

自分の腎臓の働きをホームページでチェック！

<http://j-ckdi.jp/ckd/check.html>

CKDは治療ができます

慢性腎臓病（CKD）と診断されたら

1. きちんとかかりつけ医の先生の診察を受けましょう。
2. 禁煙し、肥満を是正して、規則正しい生活をしましょう。
3. 血圧を適切にコントロールしましょう。
血圧の管理目標は130/80mmHg以下です。
減塩が大切です。
4. 糖尿病や脂質異常症も、しっかりと治療しましょう。
5. 腎機能が高度に低下すると貧血などの問題を生じますから、腎臓専門医の診察を受けましょう。
6. 腎機能が低下するとお薬の確認が必要です。薬剤師さんにも相談しましょう。

CKDを早期発見、しっかりと治療！透析や心血管疾患にならないようにしましょう



家庭でも血圧測定を!!



日本慢性腎臓病対策協議会 <http://j-ckdi.jp/jckdi/>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-28-8日内会館2F
制作：厚生労働省科学研究所
「慢性腎臓病（CKD）に関する普及啓発のあり方に関する研究班」